

—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

トルコ：北シリア・クルド勢力とトルコ外務省高官との会合

(8月15日付現地紙)

8月15日付トルコ各紙は、トルコ外務省高官とクルド勢力との会合について報じている。

1. トルコ外務省高官とクルド勢力の会合

- (1) 14日、トルコ外務省のオメル・オンホン中東担当外務次官補はイスタンブールにおいて、北シリアのクルド人組織である、民主連合党（PYD：親 PKK と目される）のナーリヒ・ムスリム党首との会談に引き続き、クルド民主党（KDP）のアブドゥルカリーム・バッシュアール、自由党のムスタファー・ジュマ及びムスタファー・ウス、シリア・クルド統一党のネシェット・ザラ及びイブラーヒーム・ブロらと会談した。
- (2) オンホン次官補はムスリム PYD 党首に対し、「トルコは PYD がトルコ国境地域の安全を侵害することは認めず、必要であれば防衛措置をとる。PKK 武装勢力とは距離を置くべきである。クルド人の苦境は承知するが、アサド政権への協力は反アサドのアラブ人との衝突を招き、クルド人のためにはならないので、シリア反体制派側で協力すべきだ。自治の動きに関しては、まずは治安の確保がすべての大前提で、軽々に既成事実を作ってはならない」と伝え、自治の動きを牽制した。これは PYD のアスヤ・アブドゥッラー共同党首らがその直前にカミシュリで行った自治政府樹立に関する発言を受けたものと見られる。
- (3) オンホン次官補は KDP 代表者らとの会談で、「トルコとしてはシリアで、あるいはイラクでもクルド人の権利確保を支援する。これはすべてのシリア国民の権利確保と一体のものだ」との立場を伝えた。クルド側も同次官補に対し、「我々としてもトルコが特定の勢力に偏らず、全てのシリア国民を支援するよう期待する」との立場を伝えた。

2. PYD 幹部の自治政府樹立の動きに関する発言

- (1) PYD のアスヤ・アブドゥッラー共同党首は、カミシュリで自治政府樹立に向けた PYD の試みに関し、「我々はクルド人、アラブ人、スルヤーニ教徒（シリア正教会信徒）、アッシリア人、アルメニア人を含む勢力とも協議し、自治政府樹立に向け一定の進展があった。今後も協議を重ねていく」と述べた。
- (2) ベシラ・ダルウィーシュ PYD 党役員も、「我々は自治に向けた憲法制定に向け議会召集と暫定自治政府樹立を考えている。これはシリアを分裂させるものではなく民主化するものだ」と述べた。